

# 転職活動 Q&A

Job Change Q & A

## Q 転職の年齢制限はありますか？

**A:** ありません。アメリカでは、そういったことに制限を設けることは法律違反となり、また年齢を尋ねることも禁じられています。たとえば管理職であれば、経験が必要となるため自然と年齢は高めになっていくでしょう。また、現従業員の年齢バランスを考えて、若手を採用するケースもあるでしょう。いずれにしても、肝心なのは、ポジションの条件に合ったスキルと経験です。ご自分の職歴に自信を持ってアプローチしましょう。

## Q 転職の回数が多いと不利になりますか？

**A:** 重要なのは辞めた理由で、それによっては不利に働きます。数が多ければ、企業側は「給料重視か、飽きっぽいのだろうか」「採用してもすぐに辞めてしまうかもしれない」と、ネガティブな要素を考え、「何がしたいのかわからない」と不信感を抱かせることにもなります。しかし、もしそれが自分のキャリアをデザインしていく上での理由であれば話は別です。アメリカでは、前向きな理由であれば理解してもらえます。キャリアアップをしていくのも転職スタイルのひとつです。また、本人の理由よりもオフィスの閉鎖など会社の事情であれば、仕方がないということで理解されるでしょう。いずれにせよ、転職の理由をきちんと説明できるかがポイントです。

## Q レジューメを作る際、希望の職種と関係が薄い職歴や、職務期間を多少変えたりしてもいいでしょうか？

**A:** レジューメは相手に見やすいように作り、1〜2枚でまとめることが基本です。嘘を書くのは厳禁。また職歴を割愛した場合、その期間にブランクができ、何をしていたのか不安にさせる場合もありま

す。応募職種に関連性の薄いものは説明を短めにするなど、強弱をつける工夫をしてみてくださいか (P51「レジューメ」参照)。

## Q 転職回数が多く、うまく説明できません。どうしたらよいでしょうか？

**A:** 転職の事実を変えることはできません。今ここで大切なのは、自分がそれをどのように捉えて、どのように生かそうと努力するか、ということです。つまり、その事実をマイナスとして捉えて悲観するのではなく、逆に幅広い知識と経験を新しい業務に生かす、という風にプラス面として捉えるのです。もしブランクがあれば、その間いかに今後有益な勉強をして充電していたかを伝えるのです。いちばんよくないのは、それを気にして、面接でしどろもどろになってしまうことです。それよりも事実を前向きに受け入れて、はっきりと自信を持って発言する方が、よい印象を与えるでしょう。

## Q 未経験の職種への転職を希望していますが、心がけることは何でしょうか？

**A:** その職種の志望動機と自分がその職種を遂行できる能力と可能性を持つことをしっかりと説明できるよう、準備をすべきです。

## Q 給与の話はどうやって交渉すればよいですか？

**A:** 人材派遣会社からの紹介であれば、担当者に相談できます。直接採用者と交渉を行う場合は、前もってジョブ・マーケットの情報収集をした方がよいでしょう。どのマーケットにも給与の相場があって、企業は通常、その相場と応募者の現在の給料などの情報を基に額を決めて

いきます。ご自分で給与の交渉をされる場合は、当然相場を知っていた方が説得力は増します。情報は [www.salary.com](http://www.salary.com) などのウェブサイトや新聞の募集広告を参考にできます。希望給与額は応募段階でのアプリケーション・フォームへの記入、また面接段階で伝えていきます。じっくりと話し合いを重ねていきましょう。

## Q 面接の際、自分の名刺は出した方がよいでしょうか？

**A:** とくに、差し出す必要はないと思います。しかし、自分を紹介する意味で出す人もいますし、失礼にあたることはありません。

## Q 現在働いている会社で、転職活動がバレてしまった！ どうすれば？

**A:** 転職活動を周囲に知られるということは極力避けるべき事態ですが、万一知られてしまった場合は、直属の上司などしかるべき人に説明しましょう。転職を希望する理由をきちんと説明し、理解してもらうための努力は必要です。皆知ることで、全体のモチベーションが下がるかもしれません。今いる会社のことも考えて転職活動をするのも大切です。活動が表立ってしまう最も多い理由は、他人がつい口外してしまうことです。それを防ぐためにも、結果が出るまでは不必要に人には話さず、本当に信用できる人のみに相談するべきです。

## Q 人材派遣会社を利用するメリットは何ですか？

**A:** 人材派遣会社で働くコンサルタントは、まず多くの就職・転職希望者との面談を通じ、その方の経歴、希望条件、職探しの考えなどの情報把握を行い、一方で企業からは多くの求人オーダーを受けています。そうした企業、登録者の情報

をもとにそれぞれにあったマッチングを日々行っています。

人材派遣会社を利用するメリットは、大きく2点挙げられるのではないのでしょうか？ ひとつは、コンサルタントとの面談を通じ、自己分析、キャリアプランのアドバイスを受けられる点。もうひとつは、コンタクトの取りやすさと情報の正確さ。自分だけで行う転職活動だと、とくにネットワークもなく、応募しても応答がないケースも多いと思います。人材派遣会社を通じて活動すると、コンサルタントが持つ人事担当者とのパイプもあり、面接までスムーズに運ぶことができます。様々な面において、無駄が省けるとも言えるでしょう。

## Q 転職のオファーが出ました。現在の会社には、どのタイミングで言えばよいでしょうか？

**A:** アメリカでは「2 week notice」といって、辞める日の2週間前に告げればよいという考えもありますが、会社による規制もあるので、まずは「Employment Hand Book」を確認しましょう。一方、会社の規制とは別に、去る会社に迷惑がかからないようなタイミングを考えることも大切なマナーです。

また告げた後のケースとして、会社の状況によっては「2ヵ月いて欲しい」と言われることもあれば「明日から来なくてよい」と言われる場合もあります。告げたことでよりよいオファーが出され、引き留められることもあります。また、消化していない有給休暇を使い切る場合もあるでしょう。新しい会社と現在の会社、両方の事情を確認しながら慎重に行うべきです。

## Q 内定が出てから働き始めるまで、会社はどのくらい待ってくれるのでしょうか？

**A:** 採用前に会社は入社時期をある程度想定しています。辞める方と引き継ぎをするタイミングの問題や、新たに立ち上げるプロジェクトのスタート時期などが検討材料です。双方の話し合いで、ある程度は入社時期を延ばしてもらえそうですが、企業が想定する時期になるべく合わせる様、努力してみてください。

## Q 円荷選職のコツを教えてください。

**A:** まず、直属の上司などお世話になった人にきちんと話をすることです。噂で周りから聞くよりも、本人から直接告げる方が誠意を伝えることができます。告げる順番は、自分がお世話になった人、ポジションの関係でいえば近い人から順に話していくのが筋です。しかし、もちろん個々の関係は本人によって違い、決断の前に本当に信用できる同僚などに相談する人もいます。いずれにしても、事は静かに行うことが賢明です。最後に仕事の引き継ぎをしっかりとすることも重要です。また、得意先には後任者の紹介も含め、あいさつ状を送るか、訪問するというところもあるでしょう。行く場所、去る場所に敬意を払うことが大切です。

## Q 転職が決まった後に、すべきことは何でしょうか？

**A:** ビザサポートを依頼している人は、手続きの準備が必要です。引っ越しが必要であれば、新居を探す必要があります。

## Q 新しい職場で気をつけることは、何ですか？

**A:** 失敗談でありがちなのは、言い方にもよりますが、早く認められようと自分の経験を主張するあまり、前の会社の話ばかりしてしまうことです。自分はそのつもりがなくても、相手によってはよい捉え方をしない場合もあります。新しい会社では、ゼロからの出発という認識でスタートしましょう。それまでの経験は、自然と実際の仕事ぶりに現れてくるものです。自分の役割は何かを見極めて、発揮できるようにしたいものです。

## Q 転職活動に重要なポイントを教えてください。

**A:**

- 1) 自己分析をしっかりとしておくこと。自分の能力と仕事の内容が合わないというミスマッチが起こらないようにしたいものです。
- 2) 先のプランをしっかりと立てて動くこと。やみくもに辞めたり、「とりあ

ず何でもいから仕事を」という観念ではなく(新人とは違うのですから)、経験に基づいた将来設計を立てることです。マイナスな理由での転職ではなく、あくまで前向きな転職にしましょう。③ これから長い時間その会社で働くのですから、不安点や疑問点など知りたいことは、決定前に確認しましょう。前向きな気持ちでスタートできるように、しっかりと仕事をしていける環境を作りたいものです。

【監修】 斎藤忠志  
Quick USA, Inc.

## 知っておくと便利なウェブサイト

### 自己分析&適正診断ツール

The Princeton Review Career Quiz  
[www.princetonreview.com/cte/quiz/career\\_quiz1.asp](http://www.princetonreview.com/cte/quiz/career_quiz1.asp)

二者択一の質問に答えていくと、仕事場で表れる性格や自分に向いている職業を診断してくれる。

The Career Key  
[www.careerkey.org](http://www.careerkey.org)

ノースカロライナ州立大学名誉教授、Lawrence K. Jones博士によるサイト。適正診断テストや職種分析、大学専攻の選び方など。

The Career Interests Game  
[career.missouri.edu/students/explore/thecareerinterestsgame.php](http://career.missouri.edu/students/explore/thecareerinterestsgame.php)

ミズーリ州立大学キャリアセンターのサイト。自分にマッチした職業から、その職業の平均給料など掘り下げてリサーチできる。

【資料提供】  
NYU Office of Career Services